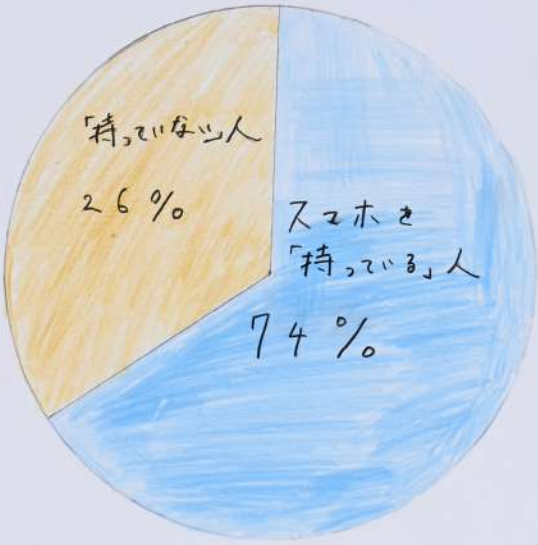
スマホと成績

きっかけ

学校のいろんな人がスマホを持っていてスマホと成績にはどのような関係があるのかと思ったから調べました。



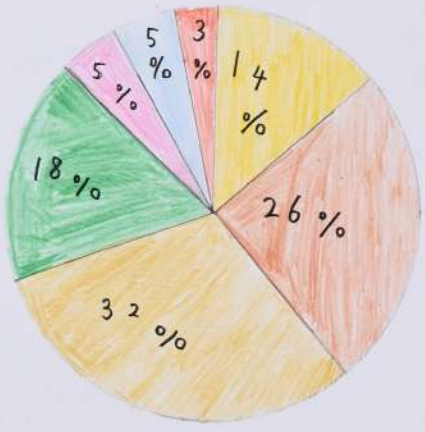
小・中学生スマホ保持率



スマホデビューの学年

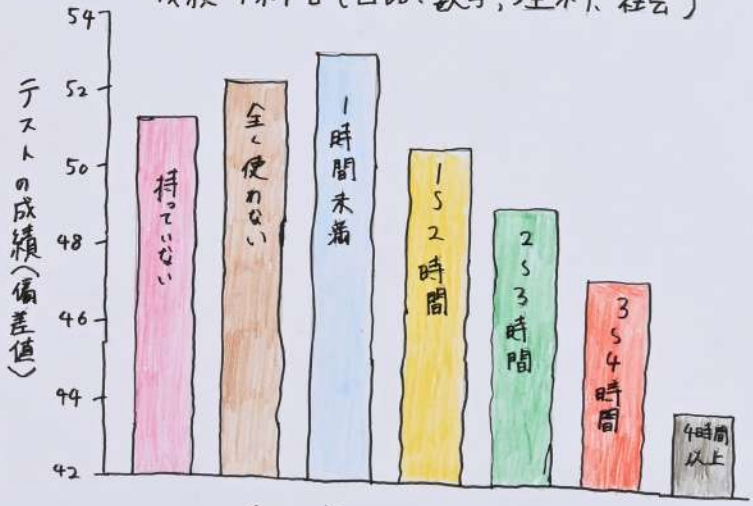
この2つのグラフで中学生でスマートフォンを持っている人が7割以上の事が分かりました。半分以上の人が小学校の時にスマートフォンをもらっているので、スマートフォンは私たちの生活に身近な物だと思いました。

子どもの1日のスマホ利用時間



スマホの利用時間と偏差値の関係

2017年度 小5～中3（41084人）
成績4科目（国語、数学、理科、社会）



左側のグラフでは2～3時間未満のスマートフォンの利用の割合が大きい事が分かりました。右側のグラフではスマートフォンを「持ってない」「使わない」と「1時間未満」が好成績を残していることが分かりました。1時間未満が1番成績が良いのは〔スマホの利用を制限できる＝自己管理力がある〕人かと思いました。なので成績が良いのかと思います。

〔まとめ〕

まずこの4つのグラフでスマートフォンが私たち中学生にとって身近な物になりつつあることが分かりました。また、スマートフォンの利用時間が少ないほど成績が良い傾向である事が分かりました。なので前にも書いた「スマホの制限ができる＝自己管理力」だと思うのでスマートフォンの使いすぎに気をつけてほどよいスマホの関わり方をしていきたいと思いました。